



**6月定例会  
県議**

**子どもを性被害から守るための条例案が可決  
「選挙区等調査特別委員会」を設置**

6月16日に開会した6月定例会県議会は、7月1日までの本会議で、大北森林組合等補助金不適正受給事案に係る国庫補助金の返還額等、総額21億円余の一般会計補正予算案や子どもを性被害から守るための条例案など知事提出の36議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、我が会派提出の地方財政の充実・強化を求める意見書案、議会運営委員会提出の長野県議会選挙区等調査特別委員会設置に関する決議案など議員提出・委員会提出9議案を可決しました。

**子どもを性被害から守るための条例  
関係者が主体的な取組を！**

子どもを性被害から守るための条例案は、先の2月定例会にその骨子案が示され、議会において議論を展開してきたところですが、県は、別途取り組んできた県政タウンミーティングやパブリックコメントの意見などを踏まえ、今議会へ条例案として提出しました。

条例案の中で加筆され

**大北森林組合等補助金の返還対応で緊急申し入れ**

「信州・新風・みらい」は、6月定例会に提出された国庫補助金返還等に係る補正予算について、「補助金の返還に当たり十分な配慮を求める付帯決議」が付され可決されたことを受け、7月1日の定例会閉会后、「大北森林組合等補助金不適正受給事案に伴う国庫補助金返還等への対応について」とする申し入れ交渉を、阿部知事に対し行いました。

冒頭、小島代表は、「予算を認め決定するのは議会だ。責任を強く感じ、委員会に付帯決議を付すと同時にこの意見を申し入れる」と、強い思



いで「申し入れ書」を手渡しました。

これに対し知事は、事実上「捜査権のない県としては、裁判において明らかに成り立っていないとしか申し上げられないが、金額は、精査のもと決定している。職員の新

た内容は、県の責務に「県は、県民運動を尊重し、それを積極的に推進する」こと、その他の項に「子どもを取り巻く社会環境の変化、この条例の施行状況等を勘案しつつ検討・所要の措置を講ずる」などです。

委員会議論では、条例

規採用は、しごと改革の断行とは別に状況を見て判断する」と答えました。

知事には、自ら進めようとしている「郷学郷就県づくり」の主旨に沿う有言実行が強く求められます。

**【申し入れの要旨】**

- 1 組合からの返還期限7月29日まで厳しく指導を
- 2 債務完済に向け厳正な対処を
- 3 「しごと改革」の人員削減に関し、若い世代の採用削減は行わないこと
- 4 昨年6月定例会の決議に基づき、十分な説明責任を果たすこと

案の罰則は性犯罪を抑止できる明確な根拠がないことや冤罪を生む危険性などの指摘がある一方、予防教育や県民運動の推進など実効性をいかに高めるか、条例の運用状況の定期的な公表が必要などの意見が出されました。

これらを踏まえ採決が行われ、賛成多数で条例案は可決されました。

処罰規定は、11月1日施行になります。

**補正予算のポイント**

○学びと働きの連携で信州創生の人材育成  
6630万円

県内4地区（モデル）に、学校・企業・地域を結びコーディネート配置し、地域を支える人材を育成

○子どもを性被害から守るための取組  
915万円

県民総ぐるみで子どもを守り育てる機運を醸成するためのフォーラム・研修会の充実、パンフレットの作成など

○武道振興の中核的拠点の整備  
4316万円

柔・剣道場6面設置の主道場、2つの副道場を備えた武道館の設計等を実施

**選挙区等調査特別委員会を設置**

委員名簿	
委員長	古田英士(自)
副委員長	高橋 宏(信)
委員	服部宏昭(自) 萩原 清(自)
	平野成基(自) 今井 敦(自)
	小林東一郎(信) 荒井武志(信)
	宮澤敏文(新) 太田昌孝(新)
	小林伸陽(共)
	自由民主党県議団 (自)
	信州・新風・みらい (信)
	新ながの・公明 (新)
	日本共産党県議団 (共)

本定例会で設置された「選挙区等調査特別委員会」は、7月1日、早速第1回委員会を開催し、「来年12月定例会を目前に、市町村等への現地調査を含め結論を得ていく」ことを確認しました。委員は上記のとおり。

**会派「先進地調査報告」**

(大分県) 3月22日から24日までの3日間、6名が参加し、大分県立新美術館、地熱発電事業、新事業創出支援のためのビジネスプランングランプリ、ツーリズムおおいの取組を調査しました。

大分県立美術館OPAMでは、「五感で楽しむ・家のリビング・県民とともに成長する」というコンセプトのもと、敷居の低い美術館を目指してい

るとのことで、老朽化する信濃美術館改築の動きに向け、大いに参考になるものでした。

ツーリズムおおいでは、「平日の湯布院・別府は外国人の街だ」との説明に、インバウンドによる来訪者が急増している状況が伺い知れました。



大分県立美術館内移動壁面の様子を調査

○大北森林組合等補助金不適正受給事案への対応  
11億5346万円

補助金不適正受給に伴う国庫補助金の返還(加算金3億5400万円を含む)

○農業生産性の向上  
6億3650万円

攻めの農業展開に向け、生産施設や機械の整備、収益性の高い作物の導入等へ総合的に支援

**「県議会手話言語普及促進議員連盟」を設立**

去る3月に制定された「長野県手話言語条例」の趣旨を踏まえ、県議会として、手話に対する関心と理解を深め、手話の普及等に関する施策に協力するため、6月27日、全議員58名の賛同のもと「手話言語普及促進議員連盟」が設立・発足しました。

設立総会席上、岸田障がい者支援課長の指導で「皆さん、こんにちは」程度でしたが、早速手話講座を開催しました。





2年ぶりの委員会質疑

熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。引き続き、安全・安心の国土・県土づくりに全力を尽くしてまいります。

# 小島康晴の 県政レポート

VOL 37

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。  
長野県議会 信州新風みらい  
〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP:http://shinshinmirai.com  
E-mail:info@shinshinmirai.com

## 会派代表として初めての定例会に臨む

重要案件を慎重審議し賛成・可決へ

県政報告第37号をお届けします。会派の代表として初めて臨んだ定例会でした。「子どもを性被害から守るための条例」(案)と、大北森林組合等の補助金不正受給に係る国への返還金が大きな議論となりました。「決めるのは議会」という責任を痛感しました。

### 総務企画警察委員会の論議から

県議就任以来10年目に於いて初めて総務企画警察委員会に所属し、2年ぶりに質疑を行いました。

#### 警察委員会

【質問】飯田お練りまつりでは警察の皆さんに大変ご苦労いただき感謝する。成果や課題等伺いたい。

【答え】延べ112名の警察官で雑踏警備にあたり、円滑に実施できた。警備時間が長時間に及び、制服姿のため休憩もままならなかったと報告があった。次回も主催者側と連携を密にし安全対策を最重点に取り組みたい。

【質問】子どもを性被害から守るための条例案では、付則に「この条例の施行の状況等を勘案しつつ検討する」との見直し

【質問】専決処分報告された27年度の最終補正予算に計上されているのか。

#### 総務企画委員会

【質問】今回の補正予算案の収入に大北森林組合からの返還金1000万円は含まれているか。

【答え】27年度中の収入のため、含まれていない。

【質問】国への返還金の対策として新規職員の採用を減らすというの筋違いである。

【質問】この事業を契機に、しごと改革を更に加速化することにより採用も抑制するということがある。狭い意味でこの事業のためだけにということではないので理解願いたい。

【要望】これから就職する人には責任を持たせないよう強く要望する。

【質問】対応策として、「職員の努力による収入の確保」とあるがどのようなことか。

【答え】滞納繰越金の削減、収納率の向上など考えられる。更に努力できるものがないか検討したい。

【質問】元気づくり支援金の見直しの取り組みはどのようなか。

【答え】市町村の担当課長との検証・検討会議を

## 阿部知事に要望・提言

毎定例会の前段に知事と正副議長・各派代表者との懇談会が行われます。

知事からは、熊本地震被災への支援の取り組み、現地機関の見直し、新たな県立武道館建設、全国植樹祭、子どもを性被害から守る条例について説明や報告、意向の表明がありました。

今回(6月1日)私からは次の点などを提起しました。

- ①飯田お練りまつりを知事にご覧いただき感謝する。観覧しての感想や、伝統芸能・伝統行事への県の支援について所感を伺いたい。
- ②今年度最初の「移動知事室」を飯伊で開催いただいたが、14市町村長が5分ずつ発言しても1時間以上かかってしまう。



知事と飯田駅前にて

また2泊3日では14市町村を回りきれない。もう一工夫必要ではないか。

③東京で開催された「酒メッセ」に参加したが、60の歳元が自慢のお酒を出し、3千人の参加で大変賑わっていて驚いた。その時の出品酒のような素晴らしいお酒が、もっと県内外に普及するよう酒の振興を図っていただきたい。

## 会派提出の意見書案 全会一致で可決

○地方財政の充実・強化を求める意見書

1 一般財源総額の確保に当たっては、社会保障、人口減少対策、地域交通対策等の地方公共団体の財政需要を的確に把握し、反映させること。

2 地方交付税算定におけるトップランナー方式の導入に当たっては、条件不利地域等、地域の実情に配慮するとともに、安心して安全な住民生活が確保されることを前提とした合理的なものとし、地方交付税の財源保障機能が損なわれないようにすること。

3 地方交付税による財源調整及び財源保障機能の一層の強化を図り、財政力の弱い地方公共団体に配慮すること。

臨時財政対策債の廃止を図るとともに、これまで発行された臨時財政対策債の償還財源を確実に確保すること。  
○義務教育の充実を求める意見書  
全ての児童生徒に行き届いた質の高い教育を実現するため、義務教育費国庫負担制度を今後も堅持するとともに、少人数学級を推進するなど、義務教育の充実を図ること。  
○保育士の確保対策の更なる充実を求める意見書  
保育サービスの質や安全性の向上を図り、保育環境を充実させるためにも、保育士の確保に向けた対策が求められる。処遇改善をはじめとする保育士の確保対策の更なる充実を図ること。

## 全国植樹祭 東野大獅子が出演

6月5日、長野市のエムウェーブにて、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、県内外から約6,000人の方々が参加して全国植樹祭の記念式典が開催されました。長野県では昭和39年に茅野市で開催して以来、2回目の開催となります。

信州の郷土芸能を紹介するアトラクションには、わが「東野大獅子」が出演し、豪快な「まだかの舞」を披露し、プロローグを盛り上げました。両陛下には別室にてご観覧いただきました。保存会にとっても私にとっても誠に光栄であり、大切な思い出となるものでした。7年後の「飯田お



東野大獅子の勇姿(写真:長野県)